

《平成30年度 児童発達支援事業 つくし園に関する報告》

① 児童発達支援（療育）

前年度から、午前・午後と2クラス増設し2部制に改正したことで、今年度も待機児童を出すこともなく、保護者や子どもたちの思いに迅速に対応することができた。今後も、療育利用希望が増加する可能性があるが、動向を踏まえながら対応策を検討していく。

開設時間の変更に伴い保護者の就労支援も踏まえ、療育支援輸送サービスの内容も拡大となった。サービスを利用希望する家庭が多くあるが、家庭内の協力により家族による送迎も増えてきている。

毎年恒例の、年中児・年長児の行事として公共交通機関を利用し、公共施設で過ごす外出活動を取り入れ社会のルールを学ぶ支援を行った。

年に2回の『だんない』との交流も定着しつつあり、子どもたちも、『だんない』の利用者と季節に応じたイベントを楽しんだり、ボーリングゲームをする等、高齢者との関わりにより情緒が育ち良い交流となっている。今後も継続して交流をしていきたいと思っている。



② 保護者支援・家族支援

親子療育後の談話や、個別面談、五者面談など保護者と会話できる様々な機会において、つくし園の様子をきめ細やかに伝えるよう心がけてきた。個別支援計画を作成するに際して、子どもが関わっている機関と連携し、より細かな支援計画が作成できるように心掛けた。

また、保護者が主体となって組織する「家族の会」の支援も保護者同士の交流において大切な役割を果たしている。11月に行われた『家族の会交流会』には親子全員で100名を超え、特に父親の参加が多かったことはこれまで交流会を継続された成果だと感じている。

学童期の支援については発達支援センターと連携しながら『支援ファイル』『移行支援シート』の活用が定着してきている。子どもの特性やつくし園での支援等の連携の機会が増えた。

学校生活の支援だけでなく放課後児童クラブ・放課後等デイサービス等、子どもたちが生活する様々な場面で関わっていただく方との連携が行えるようになってきたことは、子どもたちの過ごしやすさや生きやすさにつながっていくことを実感している。



③ 通所の状況・活動の状況等

(1) 通所状況

年度	登録児数	利用実人数	延べ利用数	1日平均
H29年度	62人	60人	189人	9.9人
H30年度	66人	63人	210人	10.6人

(2) 送迎利用児状況

年度	療育支援輸送事業(人)					つくし園送迎(人)				
	園部	八木	日吉	美山	合計	園部	八木	日吉	美山	合計
H29年度	16	10	4	2	32	5	3	2	2	12
H30年度	8	10	6	1	25	4	3	1	1	9

(3) 主な活動状況

開催日	内容
4月5日	はじまりの会
5月28,29日 6月1,4,7,12日 [6日間]	年中児・年長児外出活動 船岡駅発 → 園部駅 → 亀岡駅 → (コミュニティバス) → ガレリアかめおか
7月30日	丹波支援学校より療育見学及び連携 (H31年度 支援学校入学 3名)
7月9日・10月16日、 11月7日、11月24日、	家族の会懇談会及び交流会のサポート
2月1日	だんない交流会(豆まき) ・秋は一緒に芋ほりをする予定であったが雨天のため中止

(4) 利用に関する 会議の状況

開催日	内 容	場 所
4月 4日(水)	職員会議（平成30年度開始に向けて）	つくし園 職員室
5月24日(木)	南丹市子育て発達支援センター 運営委員会	市役所4号庁舎
7月19日(木)	職員会議（後期受け入れ枠確認）	つくし園 職員室
8月 6日(月)	後期療育連携会議 （保健医療課・社会福祉課・つくし園連携）	子育て発達支援センター
8月22日(水)	職員会議（後期受け入れ態勢の確認）	つくし園 職員室
11月21日(水)	後期療育連携会議 （保健医療課・社会福祉課・つくし園連携）	子育て発達支援センター
1月16日(水)	職員会議（来年度の受け入れ態勢の確認）	つくし園 職員室
2月18日(月)	南丹市子育て発達支援センター 運営委員会	市役所4号庁舎

④ 職員の資質向上

開催日	内 容	参加
7月 3日、8月8,9日	京都府相談従事者現任研修	2人
8月1,7日 9月28日	チームリーダー研修	1人
9月6,7日	キャリアアップ研修	1人
11月10日 11月15日 11月28日 2月 9日	南丹保健所 はぐくみ事業	2人
11月15日	発達障害専門職研修（基礎理論研修）	3人
1月26日	花ノ木医療福祉センター 『発達障害の基本的理解』 講師 津川 麻子精神科医	2人
2月13日	ストレスマネジメント研修	1人